



西田 勉 議員

問 「定額給付金」の支給と「割り増し付商品券」について伺う

答 プレミアム商品券(1割増)購入限度額1人当たり3万円
1500セット販売、30%大型店でも使用可能

問 定額給付金の支給に合わせ、地元商店街の活性化を目的とした「割り増し付商品券」の具体的な計画について伺う。

町長 本町においては、地域内限定のプレミアム商品券発行事業当該事業への財政支援を実施し、地元消費を活性化させ、町内の景気刺激に大きな役割を果たすことになるよう、商工会にも努力してもらい一体となって地域活性化につなげていきたい。

なお、この事業の実施主体は商工会であるので、現時点で把握している状況は、商品券発行日 平成21年5月1日、1セット500円券22枚綴り。価格は1万円が1千円分が割増し。プレミアム商品券購入限度額1人当たり3万円、計1500セットを販売すると聞いている。

また、消費者の利便性を考え、プレミアム商品券のうち30%は大型店でも使用できるようにするというこ

とである。

問 町道12号線三八松のカーブが大変危険なため自歩道設置はできないか。

建設課長 町の自歩道計画の優先順位としては、町道12号線(花宗川から三八松交差点)を第1位として取り組むこととしている。道路特定財源の見直し等による財政事情も検討し、事業着手に向けて取り組んでいく。

なお、カーブのところが危険箇所については、現在の車道幅が5m程度の道路である。現状を調査したところ、ゼブラ線の白線や徐行マークを設置しているが、線や文字が薄くなっている状況であり、自歩道を設置するまでの間、新しく引き直すことで安全対策を考えていきたい。

問 八町牟田から花宗川間の自歩道未整備区間について伺う。

建設課長 平成21年度当初予算で用地費を計上し、平成21年度中に用地買収を

考えている。

問 クリーク災害工事について、行政区からの申請はあったのか。また、現地調査はどのように対応しているのか。

建設課長 二つの行政区から2箇所の災害の申請があった。すぐに現地調査を行った結果、農地の水路側の畔が、きれいに残っている状況であったので、災害に該当しない旨の説明をしている。

また、現地調査については、行政区から災害の申請があった場合にはすぐに現地調査を行い現況の写真を撮影している。

今後も、申請があった場合にはすぐに現地調査を行い、災害復旧事業に該当する場合は、県へ報告し災害の申請をしていきたい。

問 5、6時以降のアクアス入館者に対し割引はできないものか。

町長 現在、車で30分以内と同様の施設は、アクアスの他に数社ある。他の施設と比較して温水プールまでついて大人500円、子

供300円と10数年値上げをせずに他施設と比較すれば、安い価格で運営してきた。また、同時期に開業した八女の温浴施設では既に値上げをしている。

施設運営資材の購入費は、増加傾向にあり入館者の著しい増加は望めない厳しい経営環境にあるといえる。

しかし、住民の期待にこたえる為に経費の低減と入館者増に全社をあげて取り組んでいる。日中と夜間の入館者割合は概ね5対5と夜間の入館者の比率は日中と変わらず、夜間割引を実施すれば大きな売り上げ減となり経営上大きな問題となる。以上のような観点から夜間入場者の料金割引については、継続課題にしたい。



アクアス